

2018 年 10 月 10 日

報道関係者各位

テクマトリックス株式会社
(東証一部 / 証券コード : 3762)

Java 対応テスト自動化ツール「Jtest 10.4.0」の販売を開始

JUnit の単体テストを効率化する単体テストアシスタント機能を強化
保守・運用フェーズで静的解析を活用するレポート機能を追加

テクマトリックス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：由利孝、以下「テクマトリックス」）は、米国 Parasoft Corporation（本社：米国カリフォルニア州、最高経営責任者：Elizabeth Kolawa、以下「Parasoft 社」）が開発した Java 対応テスト自動化ツール「Jtest10.4.0」の販売を 2018 年 10 月 10 日より開始します。

Jtest は高品質な Java システムの開発とテスト工数の大幅削減を強力にサポートする Java 対応テスト自動化ツールです。静的解析機能ではさまざまなカテゴリーに分類された 1,000 個以上のコーディングルールが実装され、それらルールに基づく解析を行うことでプログラムに潜む問題の未然防止や保守性の向上が期待できます。さらにクラスを横断して解析を行うフロー解析により、特定の処理フローに潜む例外やリソースリーク、セキュリティ脆弱性の可能性など、コードレビューでは検出困難な致命的な問題も検出します。単体テストアシスタント機能では、JUnit を用いた単体テストにおいて、JUnit で利用可能なテストテンプレートの生成やモックの作成、テスト実行を効率化でき、単体テストにかかる工数を削減します。

このたびのバージョンアップで、単体テストアシスタント機能に、外部 CSV ファイルを利用したパラメータライズドテストやモックの一括生成機能が追加されました。さらに Spring フレームワークへの対応やテストケースの一括生成などのオプションも追加され、単体テストの効率化支援がさらに強化されました。また、静的解析ではレポート機能に解析結果の差分表示機能が追加されたことで、既存プロジェクトにおける保守や運用フェーズでの追加開発や機能改修時においても、スムーズに静的解析を導入しやすくなりました。

テクマトリックスは、Parasoft 製品の国内総販売代理店として、Java ソフトウェア開発に携わるすべてのお客様の課題解決に最適なツールとして、Jtest の販売、マーケティング、ユーザーサポートなどの活動を強化してまいります

【Jtest 10.4.0 の新機能・改善点】

・ 静的解析の強化

セキュリティはほとんどの組織では大きな課題となっており、Jtest10.4.0 ではいくつかの静的解析ルールが追加、改善されました。特にソースコードのセキュリティでは 3 つのフロー解析ルールや OWASP TOP 10 の最新版である 2017 用の解析ルールセットも追加され、脆弱性の発見に貢献します。

・ 単体テストアシスタントの強化

単体テストを 50%以上効率化する単体テストアシスタント機能が強化されました。

- 単体テストアシスタントのさらなる強化

単体テストアシスタントはJUnit ベースの単体テストに対して、テストメソッドのテンプレートやモックオブジェクトの作成など単体テストを効率的に実施するための機能です。本バージョンでは、さまざまなバリエーションのテストを行うためのパラメータライズドテストに、CSV ファイルからのテストケースのインポート機能がサポートされました。これによりテストケースを外部ファイルとして保存できるので、テスト資産の管理の対象にできます。さらに、モックの作成ではテスト対象のメソッドを解析し、モック化可能な箇所を検知し、一括で自動的にモックが生成され、モック実装の手間の削減や単体テストに不慣れな開発者をサポートします。



単体テストアシスタントによる単体テストの支援

- 単体テストアシスタントにオプション機能を追加

単体テストをさらに効率的に実施するために、単体テストアシスタントの機能を拡張するオプションが追加されました。オプションは「Spring 単体テスト作成」、「変更ベースのテスト」、「単体テスト一括作成」の3つの機能から構成されています。(有償)

- Spring 単体テスト作成

Spring フレームワークを利用したアプリケーションに対して、Spring 独自の手順に沿ったテストケースのテンプレートを作成します。Spring で単体テストを行うためには、Spring の提供しているテストフレームワークを利用する必要がありますが、それを考慮したテストケーステンプレートが作成されるため、学習コストや記述の手間を削減します。

- 変更ベースのテスト

アプリケーションのソースコードを修正した際に、影響のあるテストケースを自動で検出します。そのため、テストの実行漏れを防止したり、必要な範囲だけテストを実行することで実行時間の削減に繋がります。

- ・ 単体テスト一括作成
複数のクラスやメソッドを選択してテストケーステンプレートを一括で作成できるため、テストケース作成の手間を削減します。

- ・ **保守・運用フェーズで静的解析を活用するレポート機能を追加**

Jtest など Parasoft 製品のレポートツールである Parasoft DTP に最新のソースコードの解析結果を表示するだけでなく、ベースラインとして指定した任意の時点と最新との間のソースコードおよび解析結果の差分を確認する機能が追加されました。

またファイルおよび/またはフォルダーを柔軟にグループ分けし、そのグループに基づいて解析結果を集約する機能が追加されました。これらの機能により、ソースコードの変更によって作り込まれた欠陥やプロジェクト内の特定の部分における品質状況を素早く把握し、欠陥に対する早期の対策と改修コストの削減を可能にします。

- ・ **IDE のサポートを強化**

Jtest10.4.0 では以下の IDE をサポートします。

- ・ Eclipse 4.2 – 4.7
- ・ IntelliJ 2017 – 2018.1
- ・ NetBeans 8.1 – 8.2

特に IntelliJ ではこれまで Eclipse のみで利用可能であった単体テストアシスタントが利用できるようになりました。

- ・ **販売開始日**

2018 年 10 月 10 日

- ・ **出荷開始予定日**

2018 年 10 月 10 日

2018 年 10 月 10 日において、保守サービスをご契約いただいている Jtest ユーザー様には、「Jtest 10.4.0」バージョンアップ製品を無償でご提供します。(有償オプションは含まれません。)

■Parasoft Corporation について

Parasoft は、25 年以上にわたり、ソフトウェアのバグがアプリケーションに混入する原因と仕組みを研究し、数々のソリューションを提供してきました。Parasoft のソリューションは、ソフトウェア開発ライフサイクルにおける継続可能なプロセスとして、品質改善活動を支援し、頑強なソースコードの実装、無駄がなく機能性の高いシステムの構築、安定したビジネスプロセスの実現を可能とします。数々の賞を受賞した Parasoft 製品は、長年の研究成果と経験から得られたノウハウを自動化し、エンタープライズシステムから組み込みソフトウェアまで、どのようなタイプのソフトウェア開発においても、生産性向上と品質改善を実現します。

Parasoft のコンサルティングサービスは、ツールでは解決できない問題の解決や開発プロセスの改善など、Parasoft の 25 年以上の経験を直接お客様に提供し、お客様の改善活動を支援します。

詳細は Web サイト：www.parasoft.com/ をご参照ください。

■テクマトリックス株式会社について

